

○事業所名	ままはぐ長崎		
○保護者評価実施期間	令和7年1月21日		～ 令和7年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○従業者評価実施期間	令和7年1月21日		～ 令和7年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児・保護者と良好な関係を築いている。	子供たちの健康状態や情緒、表情等を保護者や学校等と共有している。	保護者との共有事項を職員全員に正しく伝達する方法を工夫しながら、どの指導員が対応しても同じ支援ができるように努力したい。
2	季節の行事や制作活動が充実している。	制作活動では児童一人一人に合わせて指導員がサポートしながら楽しく作ることができるよう工夫している。できたものを持ち帰ってもらい、ご家族にも喜んで頂いている。	保育士に負担がかかりすぎている傾向もあるので、分担できる所は全員で分担しながら、行事の楽しみや色々な活動の幅を広げていきたい。
3	保育士1名、看護師2名、PT1名の多職種が、常勤で勤務している。	各々の職種での考え方を出しながら支援が行うことができる。 医療ケア児の対応が安定してできる。	ミーティングや会議の充実を図り、より良い療育に向けて全員の思いを統一して支援にあたりたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	関係機関や地域との連携が薄い。	外部との連携を図れる職員が不足していた。	令和7年1月より新しい管理者兼児童発達支援管理責任者が勤務しているため、相談支援事業所や地域との連携を充実させていきたいと考えている。
2	確認事項の共有や、職員間での連携を高める為の時間的余裕が少ない。	確認事項は全員で都度都度共有しているが、全員が同じ認識、理解度、最新の情報で動いているかについて確認する余裕がなく、不安な面がある。	職員がお互いを尊重し、意見を言い合える雰囲気を持つこと、全員で意思疎通をしっかりと図ることができる環境作りを進める。 情報共有の方法を見直ししながら、各自が共通の認識を持って支援にあたるができるようにしていく。
3	女性職員のみで運営している。	高学年男児に対する介助や移乗等、全般に対して同性介助が望ましいと感じている。	保護者や相談支援員さんとも共通認識を持ちながら、支援の工夫をしていきたい。 将来的には同性介助ができるよう職員を充足できたらと考えている。

公表：令和7年3月3日

事業所名 ままはぐ長崎

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	1	3	呼吸器の児童が多いときは安全を確保できるよう配置している。 児発と放デイが重なる時間帯は機材等の置き場を工夫している。	スペースは適切だが児童数や対応によって余裕がない時がある。 呼吸器の児童と他の児童が同じ空間にいる時は危険が大きいので、安全第一で職員配置を行う。
	2	職員の配置数は適切である	3	1	基準は満たしている。 支援員が数名据えたと支援に余裕が持てると思う。	適切な配置をし、安全に支援ができるよう配慮したい。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	1	バギーで来所する児童が多い為、段差に注意している。隙間を埋めたりして安全に配慮している。	フロアから死角になる場所があるので、児童から目を離さないようにしている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3	1	毎日掃除を行い、清潔に保っている。 活動の妨げになるテーブルや備品等はその都度片付けて環境を整えている。	梅雨時期に床が水浸しになったことがあるので、床対策をしながら環境維持に努める。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	1	3	日々の支援に追われて、十分ではない。	業務改善について話し合いができていない。話し合いができるよう業務改善の意識を持ちたい。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4		年に一度保護者評価を行っている。 保護者の意向は把握していると思う。	日頃の保護者とのコミュニケーションを大切にいく。 保護者の意向を業務改善に繋げられていない。改善に向けて話し合いがしたい。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	1	行っている。	結果を日々の支援に生かせるよう共有していきたい。 改善点を話し合う時間を作る。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		4	実施できていない。	検討する。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2	2	個人での研修等参加している。	事業所内研修を充実させていきたい。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4		契約時や面談時に保護者と情報を共有して計画に生かしている。 子供たち一人一人のアセスメントを行っている。	今後も継続したい。 職員間の共有や支援の統一性を図り、計画にきちんと沿った支援を行っていきたい。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	2	アセスメントツールは使用していないが、利用児の言動をしっかり観察している。	今後も継続していきたい。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4		実施している。	今後も継続しながら、より丁寧な支援内容を目指したい。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	3	1	計画に沿って支援が行われるよう努めている。	今後も計画に沿った支援ができるよう努めていく。 再度計画を確認し、計画に沿った支援が行えるよう努める。 計画に沿った記録の充実を図る。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	1	3	職員みんなでプログラムを立案できるよう話し合いの時間を取る努力をしている。 一人に負担がきていると思う。	話し合いながらチームで行ってほしい。 各自、希望だけ口にするのではなく、子供たち一人一人に合わせたものを考え立案していきたい。 それぞれの意見が出せるよう話し合いの時間を作っていく。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		全員が活動できる曜日を考えている。	職員同士で話し合って進めていきたい。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	2	2	提案はしている。保育士が工夫して行ってくれている。 その都度行っているが継続的とは言えない。	会議の充実を図り、より良い計画作成を目指したい。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	1	3	行事やイベントの際には役割を決めたり、話し合いをしたりして内容の確認をしている。 全員が集まる時間を取ることは難しい。	ライン等で情報共有したり、全員で把握すべきことは伝えるよう努力を継続する。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	3	児発と放デイの時間帯が重なる日が多く時間的余裕がない。 出勤時間や支援担当の関係で必ずしも難しいが、共有しないといけないものは記録に残し、ライン等でも伝えていく。	時間に追われていてゆっくり共有できていないので工夫したい。 時間を取る努力をする。なるべく時間を作る。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		実施できている。 各記録はきちんとしている。	分かりやすく丁寧な記録を心がけていきたい。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	3	1	行っている。	必要に応じ計画を見直すなど、より子供の状況に合わせた計画を検討していきたい。 活発に会議ができるようにしたい。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	1	行き届いていないことが多数あったと思うが、いる職員で共有し、頑張っていた。	職員で協力しながら、参画していきたい。どの職員が参加してもよいように情報共有を徹底していく。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4		相談支援事業所、基幹相談支援等と連携している。	今後も継続していく。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	3	1	他事業所、保育所、相談支援員さんとの連絡を取っている。	知識を習得しながら、今後も継続していく。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	4		保護者を通じてではあるが、こまめに情報共有をしている。	主治医と直接連絡はとりにくいが、保護者を通して連絡している。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	2	現在、該当者がいない。保育園併用の利用児に関しては送迎時に共有できている。	今までに該当する児童はなかったが、必要時に連携を取っていけるようにしたい。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	1	送迎時等に様子を伺ったり、こちらでの様子を伝えている。	情報共有はされていると思うが相互理解までには至っていない。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	2	いつどのような形で実施されているのかわからない。他の事業所との連携はしているが、助言や研修は受けられていない。	連携を深め、できるだけ参加していきたい。研修を受けたい。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		4	現在行っていない。	子供たちの体調等に合わせながら行っていきたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		4	どのようなものかわからない。参加していない。	次回開催は未定とのことだが、積極的に参加してする。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		送迎時などにコミュニケーションをとりながら情報交換を行っている。	今後も継続していく。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		4	行っていない。	必要に応じて取り入れていく。ペアレントトレーニングを学びたい。家族支援に対する知識を身に付けていきたい。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	1	行っている。前任の児発管が契約時に行っていると思うが定かではない。	変更があれば都度お伝えしていく。保護者から問い合わせがあれば対応していく。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4		行っている。	今後も継続していく。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		送迎時やライン等で応じている。必要なことは職員間でも共有している。	他連携機関とも情報共有しながら的確な助言を行えるようにしていきたい。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		4	行っていない。	保護者のご要望も多いので、機会を作り。保護者同士のつながりも作っていきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4		保護者からの相談等があった際には全体に周知して全員での情報共有を行っている。	今後も継続していく。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	1	3	インスタグラムやラインで事業所での様子は発信している。送迎時にできるだけ活動を伝えるようにしているが、ばたばたして忘れることもある。月に1、2回写真と一緒に言葉添えて送っている。	利用の頻度等で写真の数に偏りがある。活動時に様子を記録するよう努力したい。持ち回り制で、新聞を作成してもいいかもと思う。インスタグラムの更新がおろそかになっているので、係を作るなどして積極的に発信したい。月々の活動内容を今後知らせていきたい。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	4		十分注意している。	今後も継続していく。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		行っている。	今後も継続していく。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		4	事業所のスペースが狭いこともあり、行っていない。	今後計画したい。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3	1	職員間で話し合い、一覧にして保護者にも確認している。事業所内研修や定期的な訓練を通して理解を深めている。	保護者にも防犯、緊急児の説明をする機会を持ちたい。職員間での周知はできているが、今後ご家族への周知も必要に応じて行っていく。
非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		定期的に訓練を行っている。	今後も継続していく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4		行えている。	今後も継続していく。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4		行えている。	今後も継続していく。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	1	ファイリングして、誰でも見られるようにしている。作成したものを全員で共有し再発防止に務めている。	事故を起こさないことを大前提として、日々の支援を注意して行っていく。共有したことを今後に繋げたい。全職員がヒヤリハットを提出するよう努める。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4		委員会や研修を通して理解を深めている。	今後も継続していく。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4		現在対象の児童はいないが、身体拘束は行っていない。	今後も継続する。

公表： 令和7年3月3日

事業所名：ままはく長崎

保護者等数（児童数）4名(5名) 回収数 割合 100%

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ		ご意見	ご意見を踏まえた対応
			いい	いいえ		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	4			お散歩にも連れて行ってもらってありがとうございます。	今後も様々な活動を提供していきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	3	1		人員不足の為か、予定外で利用したい時、受け入れが難しいことが多い。	予定外の受け入れに対応できておらず申し訳ありません。今後は人員を充実させ、できる限り対応できるよう努めます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4				
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	4				
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4				
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4				
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	4			いつも様々な遊び、制作をありがとうございます！	子供たち自身の楽しみや新しくできたこと、成長したことなどを、活動を通して保護者の方々にお伝えしたいです。
	9 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	4				
	10 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	4				
	11 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	2	2			現在行っておりませんが、まずは職員研修の内容に取り入れていきたいです。
	12 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	4				
	13 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	4				
	14 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		3	1	保護者同士集まる機会がほとんどない。集まる機会があれば嬉しいです。今後あればぜひ参加したいです。	どのような形で開催が良いか保護者の方々に伺い、開催できたらと考えています。また家族参加型イベント等も企画していきたいです。
保護者 への 説明 等	15 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	3	1			相談しやすい環境を整備し、保護者より周知されたことをきちんと対応できるよう共有を図ります。
	16 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	4				
	17 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	2	2			個別に写真等で活動の様子をお伝えしています。また全体的に活動を伝える手段を検討していきたいです。
	18 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	4				
非常時 等の 対応	19 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	2	2		意識していなかったので記憶にないです。	マニュアルについては適時分かりやすくお伝えします。具体的な訓練内容については実施毎にお知らせ致します。
	20 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3	1		意識していなかったので記憶にないです。	定期的に各訓練を行っています。今後、実施の度に具体的な訓練内容をお知らせ致します。
満足 度	21 子どもは通所を楽しみにしているか	4			いつもとても楽しみにしています。	ありがとうございます。今後も楽しく通えるよう工夫していきます。
	22 事業所の支援に満足しているか	4			いつも沢山の工夫ありがとうございます。いつもありがとうございます。	励みになります。より満足度の高い支援ができるよう努力致します。

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通して、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせる実施されることが想定されています。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方を学ぶことで、子どもが適切な行動を獲得することを目標としています。

事業所名	公表日		公表日		公表日
ままはく長崎					令和7年3月3日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	3	基準は満たしているが呼吸器の児童が多い日は手狭に感じる。また、感染症疑いの際、別室がない為、利用をお断りすることがある。児童と放デイの時間帯が重なる時(夕・長期休み)スペースが十分ではない。	将来的に事業所を増やしたい。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1	適切。シフト制の為、急な延長支援の要望に応えるのは難しい。	勤務がシフト制なので余裕がない時がある。人員配置を的確に行えるよう工夫する。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1	靴や、靴下置きおもち入れ等、分かりやすくしている。	座位でできる手洗い場があるといいと思う。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	1	掃除、消毒を徹底している。その日利用する子供たちが快適に過ごせるよう日々工夫している。	機材等も多い為、配置等を工夫し安全に過ごせるようにする。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		4	できるだけ広く使えるよう工夫している。パーテーション等で個別に対応している。別室がない。	基準は満たしているが部屋数がほしい。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	1	3	日々の支援に追われていて十分ではない。	業務改善の為、話し合うという意識を持ちたい。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		年に一度、保護者評価を行っている。	保護者評価の他、日ごとのコミュニケーションも大切にしていきたい。
	8 職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	3	各自で行動している様子あり。全員の意見を把握し、支援に生かしていきたい。	意見交換をする余裕がないことで、その意識が薄い面がある。こまめに意見交換をする機会を持つことで改善していきたい。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4	行っていない。	検討する。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	1	3	他の重心放デイを見学させて頂く機会を持った。個人で研修参加している。	事業所内研修だけでなく、外部研修等にも積極的に参加していきたい。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		現在作成中。	今年度中に公表する予定。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		最初のアセスメントの他、利用時に担当職員が保護者と情報共有をしている。	保護者より体調や処置等の変更を伺った際には、職員に周知している。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	1	行っている。	各担当者の意見を個別支援計画に反映させていきたい。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	1	行っている。	共通理解が足りない面もあるので、カバーしあいながら目標に沿った支援をしていきたい。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1	3	特性に応じたアセスメントシートをとっている。	今後も継続したい。職員間の共有や支援の統一を図り、計画にきちんと沿った支援を行っていきたい。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	1	個別支援計画に設定している。	5領域に対して再度共有し、必要に応じて移行支援や地域支援を行ってきたい。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	1	3	保育士が中心となって立案している。	今後も続けつつ、みんなで検討する時間を増やしたい。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		同じ活動が続かないように工夫している。苦手な事は短めに、好きなことは飽きるまでできるようにしている。	月毎にプログラムを決めているが、その都度柔軟に色々なプログラムを楽しみたい。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	2	2	個別活動と共に、できるだけ集団での活動を楽しめるよう工夫している。	現在、利用児童が二人で、活動できる範囲も違うので、個別活動を充実させていきたい。放課後で時間も短いので、集団活動をできる時間を考えておくようにする。医療的ケアなどの時間を考慮しながら職員同士で話し合い、集団活動が可能な時間を確保していきたい。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	1	3	シフト制の為、全員で顔を揃える時間帯が限られている為ラインで共有している。	共有事項を全員同じ理解度、認識を持っているか不安がある。共有の方法をよりよく見直していきたい。
21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	3	シフト制の為、全員で顔を揃える時間帯が限られている為ラインで共有している。	共有事項を全員同じ理解度、認識を持っているか不安がある。共有の方法をよりよく見直していきたい。	
22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		体調の他、活動の様子や保護者とのやり取りなど丁寧に記録している。	今後も継続しながら支援に反映させていきたい。	
23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		モニタリングを行う前に保護者との面談を行い、適切に見直しを行った。	今後も保護者との面談内容を職員間で共有していきたい。	
24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	2	2	それぞれの子供たちの特性の応じて取り入れている。	地域交流ができていないが、時間の取れる長期休み等に計画をしたい。地域交流の機会を入れる方法を考える。子供たちそれぞれの特性を把握して支援を行っていく。	
25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	3	1	色や形、感触など、支援の中でいくつかの選択肢を設け、子供自身で決定できるよう声掛けをしている。	子供と意思を尊重し、子供自身の決定を待つようにしたい。今後も子供たちが自己表現しやすい環境を作っていく。	

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	2	学校お迎え時等に短い時間ではあるが、先生方とお話している。担当者会議等、会議自体を知らない。	担当者会議等、こちらから開催を依頼するなどして、連携を強化させたい。 勤務調整をして積極的に参加できるようにする。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	2	病院同行の際に主治医と、保育園送迎の際に担任の先生とお話できた。	各機関と連携できるようこまめに連絡を取りたい。 積極的に訪問等して連携体制を整えたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	1	送迎時や手紙等で情報共有を行っている。	今後も送迎時などに情報共有していきたい。 情報収集に努めたい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	3	就学後の利用であること、前任の管理者が退職している為、不明。他事業所と連携している。	必要に応じて情報共有していく。 機会があれば連絡をとってきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	3	該当者がいない。	他の事業所とも連携を取りたい。 該当者がいる時には行いたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		4	センターの職員の方の話を聞いたり、ご見学に来て頂いている。	積極的に研修に参加したい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		4	現在交流はない。	感染症に配慮しつつ、他の子どもたちと交流する機会を持ちたい。 重症児が多い為、感染リスクを考えると難しい点が多いが、できるだけ交流できる体制作りを考えたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		4	前任者の記録等がない為、不明。	情報収集に努めたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4		保護者との連絡は密に取っている。	課題がある場合に解決できるようにしていきたい。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		4	行っていない。	情報収集に努めたい。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	1	契約時の管理者が退職している為不明。	全職員が理解して業務にあたるようにしたい。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		面談時や、普段の会話等から意向を確認している。	今後も継続していく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		定期的に面談し、説明を行っている。	今後も継続していく。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		必要に応じて、保育士、理学療法士、看護師が対応している。	今後も継続していく。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		4	開催できていない。	イベントを通して父母参加の機会を設けていきたい。 きょうだい児も来所できる機会を作れたらと思う。 開催場所や日時を検討したい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		保護者からの要望等があった際には迅速に対応している。	今後も丁寧な対応を行っていく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	2	通信の発行はしていないが、ラインでの写真の共有等を行っている。	事業所での取り組みの様子などを伝える為、SNSを積極的に活用していきたい。更新の係等を決め、継続して発信できるような体制を整えたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		十分留意している。	今後も継続していく。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		配慮するよう心掛けている。	今後もけいぞくしていく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4	行えていない。	子供たちの体調等見ながら、できる形を探していきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1	事業所内研修や定期的な訓練を通して、理解を深めている。	より分かりやすいマニュアル作りに努めたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	1	作成している。それに音づいて定期的に訓練を行っている。	通所の日程等で参加できていない利用児がいるので、今後計画したい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		確認している。	適時確認していく。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		現在1名アレルギー対応をしている。	今後も継続していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1	作成している。定期的に訓練をしている。	安全に子供たちの支援を行えるように必要な研修、訓練を行っていく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	1	家族とはこまめに連絡を取り、安全に努めている。	研修等があれば参加したい。 安全計画を確認しながらご家族との連携を続けていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	1	作成したものは全員で共有し、再発防止に努めている。	徹底確認する体制を持ちたい。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		委員会、研修を通して理解を深めている。	今後も継続していく。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		現在身体拘束は行っていない。	今後、やむを得ず、身体拘束を必要とする場合があれば職員間で話し合いをし、保護者へ説明をし同意を得るようにする。

事業所名 ままはぐ長崎

公表日：令和7年3月3日

利用児童

数：2名

回収数：100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	1			1		適切な職員配置を保護者の皆様へも分かりやすく伝えていきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1			1		今後、家族イベント等を企画し、実際の支援の様子を見られる機会を作りたいです。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	1			1		清掃、消毒等をきちんと実施しています。活動しやすいよう、分かりやすい配置をしています。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2					
保護者 への 説明 等	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。				2		現在実施しておりませんが、体調等配慮しながら前向きに検討します、
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。			1	1		現在行っておりませんが、まずは職員研修に取り入れていきたいです。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	2					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。			2			どのような形で開催が良いか保護者の方々に伺い、開催できたらと考えています。また家族参加型イベント等も企画していきたいです。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2					
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2					
非常 時 等 の 対応	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	2					
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2					
	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2					
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2					
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2					
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2					
満足 度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	2					
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	2					
	29 事業所の支援に満足していますか。	2					